

令和5年10月17日

各位

 大阪府中央区瓦町三丁目5番7号  
 株式会社アドバンスクリエイト  
 代表取締役社長 濱田 佳治  
 (コード番号: 8798 東証プライム、福証、札証)  
 (連絡先) 総合企画部長 笠井 俊一  
 電話 06-6204-1193

## 人とテクノロジーを深化させ進化する会社

## 2023年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年10月17日開催の取締役会において、2023年8月10日に開示した2023年9月期(2022年10月1日~2023年9月30日)の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2023年9月期の連結業績予想数値の修正(2022年10月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
前回発表予想(A) (2023年8月10日公表)	百万円 12,000	百万円 ▲310	百万円 ▲500	百万円 ▲480	円 銭 ▲21.92
修正予想(B)	11,000	▲1,100	▲1,300	▲1,250	▲57.13
増減額(B-A)	▲1,000	▲790	▲800	▲770	
増減率(%)	▲8.3	-	-	-	
(ご参考)前年同期実績 (2022年9月期)	11,860	2,061	2,015	1,312	59.97

## 2. 修正の理由

当社は新会計基準を適用し、将来手数料収入を解約率などで割り引いて、現在価値(PV)を算定し、売上として計上しております。円安による外貨建保険の解約、失効の増加に加え、株高などを背景とした貯蓄性保険の解約、失効の増加等により、解約率が想定を上回って推移したことから、過去に売上として計上した分も含めた現在価値が減少し、売上から差し引いたことが減収要因となりました。

今回、解約による影響が、円安の長期化などを背景に、前回公表時点の想定より長引く見通しとなったこと等から、通期業績予想を修正いたしております。

なお、上述の減収要因に加え、2023年9月期の利益を押し下げた要因は一過性のものとして収束が見込まれることから株主に対する安定配当を重視し、配当予想について変更はいたしておりません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以上

(参考資料)

## 2023年9月期 売上減収要因 売上の推移

金額単位：百万円

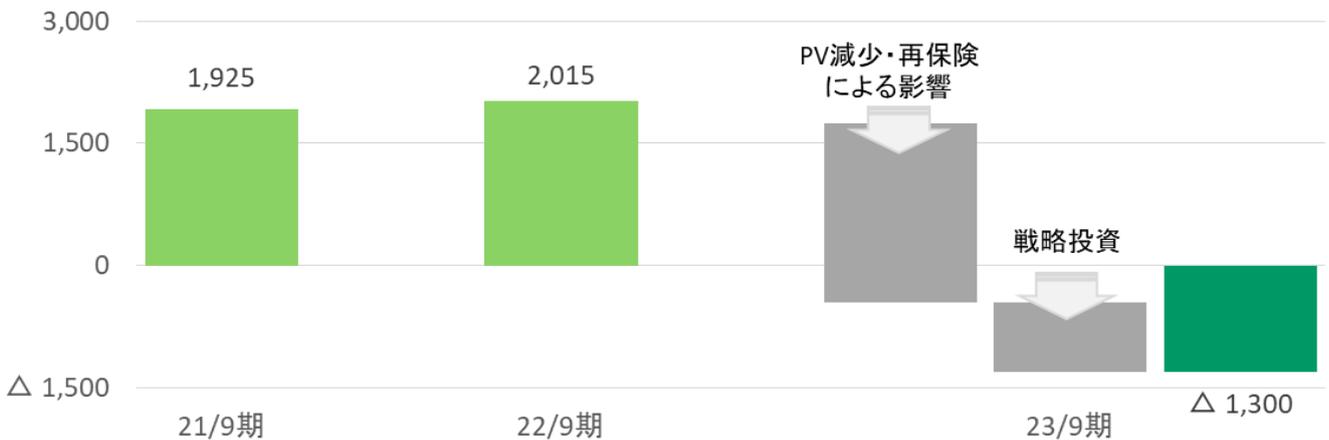


- 2023年9月期は円安による外貨建保険の解約、失効の増加に加え、株高などを背景とした貯蓄性保険の解約、失効の増加等により、解約率が想定を上回って推移したことから、過去分も含めた現在価値（PV）が減少し、売上から差し引いたことが、主たる減収要因となりました。
- ストラクチャードファイナンスのスキームを見直し、2023年10月以降の契約から発生する将来手数料収入のみの現在価値を算定し、売上として計上することで、解約率の上昇による影響の極小化を図る予定です。

## 2023年9月期 減益要因

### 経常利益の推移

金額単位：百万円



※減益要因を示すグラフは可視化を目的としており、実際の数値に基づくものではありません。

- 2023年9月期は、①PVの減少による売上減、②コロナのみなし入院給付金の支払いに伴う再保険事業の赤字、③コールセンターへの投資、④デジタル施策への投資、が利益を押し下げる要因となりました。
- ①と②は、外部環境の変化による減益要因、③と④は当社の経営戦略上の投資です。
- ①解約率の影響を極小化する予定であり、また、②のみなし入院給付金の支払いは現在、収束していることから、2024年9月期への影響は限定的と考えております。